

授業科目名: 解剖学	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数: 2単位	担当教員名: 北原秀治 担当形態: 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 保健体育)		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・生理学(運動生理学を含む。)		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる(専門知) DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)			
授業のテーマ及び到達目標 (1)人体の各器官系の構造と機能を理解し説明できる。 (2)運動力学の基本的内容について理解し、運動を科学的に説明することができる。 (3)運動に関わる身体各部分の構造や機能について説明できる。			
授業の概要 人間の体の各パーツの構造と名前、そして機能を知ることと、それらがいかに調和を保っているかを学修する。人体解剖学及び組織学の知識は、外傷や病気を理解する基礎となるため、この知識を基に、医学に関する知識を養う。			
授業計画 第1回:解剖組織学総論(4大組織と体の構造) 第2回:解剖学1:骨学(骨、関節の構造) 第3回:解剖学2:筋学(骨格筋、平滑筋、心筋) 第4回:解剖学3:消化器1(口腔~肛門) 第5回:解剖学4:消化器2(肝、胆、膵) 第6回:解剖学5:循環器(心臓、肺、血管、リンパ管) 第7回:解剖学6:呼吸器(気管、肺、呼吸の生理) 第8回:解剖学7:泌尿器、生殖器 第9回:解剖学8:中枢神経(脳、脊髄) 第10回:解剖学9:末梢神経1(脳神経) 第11回:解剖学10:末梢神経2(脊髄神経) 第12回:解剖学11:感覚器1(視覚、聴覚、平行覚) 第13回:解剖学12:感覚器2(味覚、嗅覚)、外皮 第14回:解剖学13:炎症性疾患、外傷(骨折、脱臼)、腫瘍性疾患の病態学 第15回:解剖学14:骨、筋の生理学、体の恒常性 科目修得試験			
スクーリングでの学修			
テキスト 「解剖学 改訂第2版」岸清著(全国柔道整復師学校協会監修) 医歯薬出版、978-4-263-24155-4 講義資料 *クラスルームにて配布			
参考書・参考資料等 クラスルームにて指示する。			
学生に対する評価 レポート評価(50%)、科目修得試験(50%)			